



## 歯周組織の健康に配慮した 磁性アタッチメント (ギガウスC) の臨床



東京都八王子市 医療法人社団 駿匠会 わきもと歯科子安クリニック

脇本昌幸

### はじめに

歯科用磁性アタッチメントが臨床に用いられるようになって約13年が経過した。その間、多くのメーカーから商品が発売され臨床に好成績をあげている。

扱いが簡単なうえに支台歯への側方圧が軽減される点その理由といえよう。ところが支台歯の清掃性を考えてみると安心ばかりしてられない。高さのない根面板形態では歯ブラシの毛先が支台歯に固定

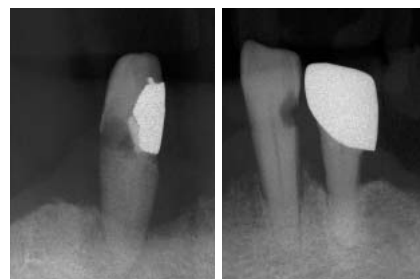
されずプラークコントロールが難しい。さらに悪いことには、常に義歯床で覆われているため、根面板の周囲にプラークが停滞する。だから、根面カリエスが後を絶たないと思われる。

私は、根面板に高さを与えることで、この問題を解決できると考えている。

最近ジーシー社から発売されたギガウスは小型・薄型で強い吸引力を発揮する

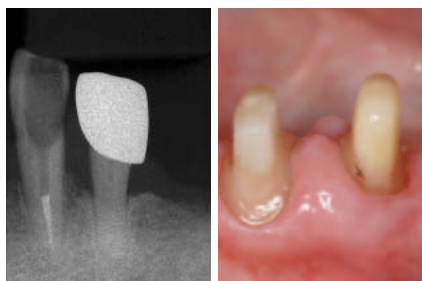
ため口腔内のあらゆる部位・条件に対応でき、また根面形状に合わせて使える特長をもつ。この特長を活かすことにより、根面板に高さを与えることができると思われる。今回ギガウスCタイプを用いて歯周病学的および予防学的に配慮したケースを2ケース提示し考察したい。

### 症例1



1  
1  
1  
1  
2  
3

初診時。上顎は無歯顎、下顎は 3|34 支台のパーシャルデンチャーが装着されており、3|が腫脹及び疼痛にて来院。3|は保存不可能と判断し抜歯。



1  
4

3は深在性のカリエスのため抜髄、4は生活歯で保存。



1  
5  
1  
6

内冠形態のテンポラリークラウンを作製し、歯周組織の改善を行った。





1  
7

1  
8

1  
9

今迄使用していた部分床義歯を改造し、治療用義歯としてオーバードンチャーの形態にした。治療用義歯にて咬合高径の決定を行い、上顎義歯の安定と咬合平面の改善を図るため上顎総義歯から作製することとした。



1  
10

1  
11

上顎最終総義歯。(人工歯はジーシー社リブレント陶歯を使用)

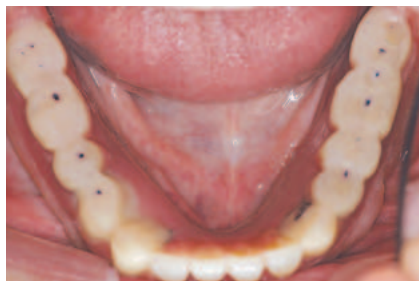


1  
12

1  
13

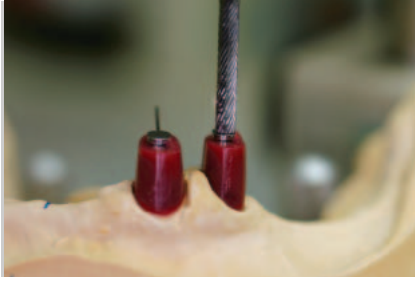
1  
14

1  
15



1  
16

上顎最終義歯の咬合平面を基準に下顎治療用義歯の臼歯部咬合平面の修正を行った。



1  
17  
磁性アタッチメントの選択。根面形態を考慮し、ギガウスC300を選択した。磁石の位置はサバイヤーを用い咬合圧のかかる方向を考慮し、磁石の面と咬合圧が平行にかかるように設定した。



1  
18  
義歯とのクリアランスや歯牙の揺さぶりが確認後、テンポラリーク라운を参考に歯冠長を決定した。根面維持装置に高さを与えることにより、歯頸部にブラシが確実に当たり歯周病および二次カリエスの予防につながる。



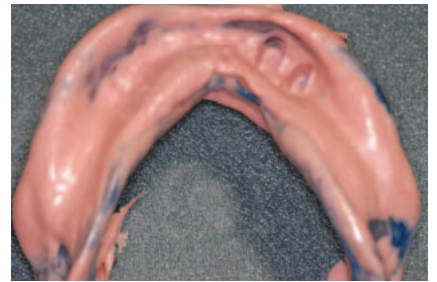
1  
19  
下顎咬合面観。



1  
20  
粘膜調整材(ジーシー社ティッシュコンディショナー使用)により床縁形態を決定した治療用義歯。



1  
21  
粘膜機能印象材による一次印象(ジーシー社ティッシュコンディショナー使用)。



1  
22  
シリコン印象材による二次印象(ジーシー社エクザファイン使用)。印象法【「カラーアトラス 誰にでもできる下顎総義歯の吸着」阿部二郎(ヒョロン)を参考】



1  
23  
最終下顎義歯完成(磁性アタッチメント部は口腔内で装着予定)。



1  
24  
最終義歯装着時の適合状態(ジーシー社フィットチェッカーⅡ使用)。義歯の沈み込み等を考慮し磁石は義歯装着1週間後に装着する。



1  
25  
義歯装着約1週後、義歯の沈み込みや咬合のズレがない事を確認し、口腔内にて磁石の装着を行う。



1  
26  
磁石の入るスペースをフィットチェッカーにて確認する。



1  
27  
義歯の浮き上がり防止と磁石吸着面にレジンのバリを作らないために遁路を付与する。



1  
28  
磁石装着後、側方圧を軽減するため根面板周囲の床内面を削り義歯床用軟質裏装材(リライン)にて裏装された最終下顎義歯床内面。

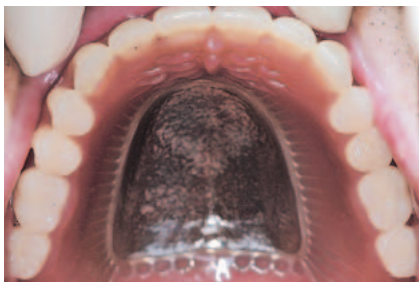


最終義歯の上下顎の関係と床縁形態。

1  
29

1  
30

1  
31



上下顎最終義歯装着時の状態。義歯の強度を保つことと、力の分散を図るため歯牙の周りを囲むようにメタルフレームを設計。

1  
32

1  
33

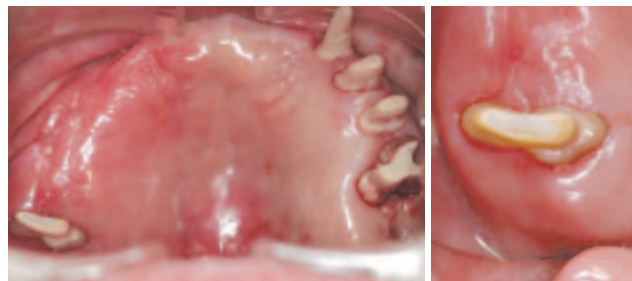
1  
34

## 症例2



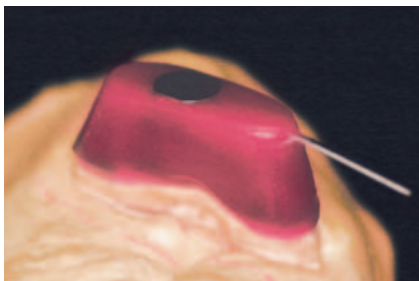
義歯の沈下と脱落を防ぐ為に 7] に磁性アタッチメントを計画。3456 は連結クラウンを計画。

2  
1



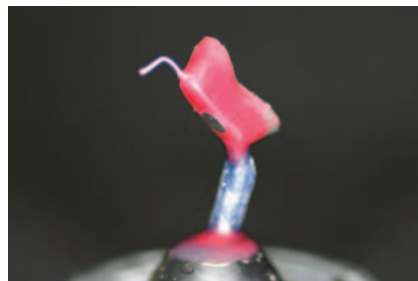
根面形態を考慮しギガウスC400を選択。

2  
2



キーパーをワックスパターンに埋め込む。維持棒がキーパー下面に付いているため、ワックスパターン内に固定しやすく、ワックスアップを行い易い。

2  
3



埋没時キーパーが動かないように脚を曲げて埋没。鑄造後の酸浴処理を行う際、薬液の選択を誤るとキーパーが腐食するので注意が必要。

2  
4



7] に磁性アタッチメントを設計することでレスタ的役割と磁石による義歯の脱落防止を期待する。

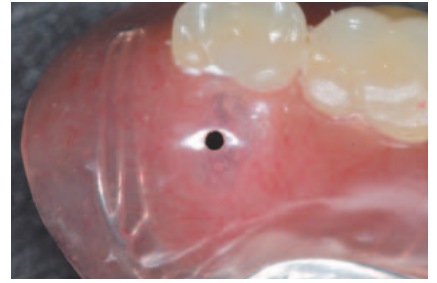
2  
5



2  
・  
6 口腔内装着時。



2  
・  
7 上顎最終義歯。義歯装着1週間後、義歯の沈み込みおよび咬合のズレがない事を確認後、磁石の装着を行っていく。フィットチェッカーで磁石の入るスペースの確認をする。



2  
・  
8 義歯床内に磁石を装着する際、余剰なレジンが逃げるための通路を付与しておく。



2  
・  
9 2  
・  
10 2  
・  
11



ギガウスに金属接着用プライマーを塗布し、レジンを筆積みし、咬合させた状態で硬化させる。



2  
・  
12 2  
・  
13 2  
・  
14 2  
・  
15



上下最終補綴物装着時。[67 部においては今後、上顎義歯の安定と最後臼歯までの咬合を得るためインプラントを予定。

## おわりに

臨床において様々な治療法がある中でどのような治療法を選択し、また歯牙に対してどのようなアプローチをするべきか常に悩むところである。今回選択した治療法は根面維持装置に高さを与えることにより

プラークコントロールをより行い易い環境を与えることが出来たと考える。変わり行く口腔内の環境に対して、よりスムーズに対応出来るように治療設計を立てることはとても重要なことであり、常に先を見据え

た治療を行うべきだと考える。それが医師、患者共にストレスのない治療に繋がる。今回、磁性アタッチメントを用いた事によって予知性を考慮し、今後大きな口腔内環境の変化が起きない事を期待したい。